

問題文

- 19 1アウト、走者二・三塁。スクイズプレイが企てられたが、二塁走者はスタートしなかった。このとき、捕手のミットがバントしようとした打者のバットに触れた。得点1点、走者一・二塁で試合を再開する。

回答

( × )

参照

6.01(g)スクイズプレイまたは本盗の妨害

三塁走者が、スクイズプレイまたは盗塁によって得点しようと試みた場合、捕手またはその他の野手がボールを持たないで、本塁の上またはその前方に出るか、あるいは打者または打者のバットに触れたときは、投手にボークを課して、打者はインターフェアによって一塁が与えられる。この場合はボールデッドとなる。

[注2] すべての走者は、盗塁行為の有無に関係なく、ボークによって1個の塁が与えられる。

5.05 打者が走者となる場合(b) (3)

捕手またはその他の野手が、打者を妨害(インターフェア)した場合。しかし... 以下省略

問題文

- 20 走塁を妨げられた走者に対してプレイが行われている場合、塁上の走者は、妨害発生のときの占有塁から少なくとも1個の塁が与えられる。

回答

( × )

参照

6.01(h)オブストラクション (1)

走塁を妨げられた走者に対してプレイが行われている場合、または打者走者が一塁に触れる前にその走塁を妨げられた場合には、ボールデッドとし、塁上の各走者はオブストラクションがなければ達したであろうと審判員が推定する塁まで、アウトのおそれなく進塁することが許される。 走塁を妨げられた走者は、オブストラクション発生時にすでに占有していた塁よりも少なくとも1個先の進塁が許される。 走塁を妨げられた走者が、進塁を許されたために、塁を明け渡さなければならなくなった前位の走者(走塁を妨げられた走者より)は、アウトにされるおそれなく、次塁へ進むことが許される。

【解説】 オブストラクションには様々な状況があります。オブストラクションと悪送球が発生した場合、どちらが先に起こったかで判定が変わる場合もあります。規則6. 01 (h) (1) 特に【原注】と【注1】～【注4】を熟読し、また、競技者必携(2019版)問4 1(P126)～問53(P129) 問答集も併せて読んで理解を深めて下さい。